

簡易診断を無償提供

コムチュア、「野良RPA」可視化

コムチュアは企業のRPA（ソフトウェアロボットによる業務自動化）利用状況を網羅的に評価し、改善策を提示する「RPAアセスメントサービス」の提供を始めた。管理が行き届かない「野良RPA」を可視化し、業務環境の健全化を支援する。簡易診断を無償提供し、詳細診断はRPAの規模や対象業務に応じ100万円（消費税抜き）前後から提供する。中堅・大手の製造・金融業を中心に、27年度に10社への販売を目標とする。

近年、デジタル変革（DX）推進でRPA導入企業が増加する一方、各部門での管理外の「野良RPA」の乱立・属人化や運用停止リスクといった課題も指摘される。新サービスは専門人材が「健康診断」のイメージでRPAの稼働状況や利用範囲を整理。管理台帳の作成や改善ロードマップ策定など七つの項目を評価・判定し、今後の対応方針を示す。

同社は新サービスを通じて、企業のガバナンス強化と「野良RPA」削減による運用コスト低減につなげる。

（さいたま）